

1. 業務の目的

(1)施策実施状況調査の実施業務

令和6年4月に全日でダイヤ調整した八木山ライン及び令和4年10月に運行開始した仙台都心循環線の利用状況を把握するとともに、利用者を対象としたアンケート調査を実施し、施策実施による効果を把握するものである。

(2)仙台都心循環線ポスター、チラシ等の作成業務

仙台都心循環線や八木山ラインの利用促進に向け、仙台市内の小学校及び保育施設並びに八木山ラインの沿線住民へ配布を行うものである。

(3)モビリティ・マネジメント実施業務

八木山ラインの周辺小学校である八木山小学校の児童と保護者を対象としたバス乗車体験を実施し、バスの乗り方や降り方等の体験を行うものである。

2. 業務成果概要

(1)施策実施状況調査の実施業務

1)八木山ラインにおけるダイヤ調整の効果検証

①路線バス利用者数の取組前後の比較・分析

■集計条件

- バスODデータ（令和元年～令和6年の各年6月の平日）から八木山ラインの利用状況を分析

●八木山ライン利用者数の推移

- 平日の利用者数は、定期外利用者、定期利用者ともにR5からR6にかけて増加した。（図1）
- 土休日の利用者数も定期外利用者、定期利用者ともにR5からR6にかけて増加しており、平日より増加率が高い。（図1）
- 昨年に引き続き、八木山ラインの平日利用者増加率（1.04）は、市内全体の増加率（1.01）より高い。

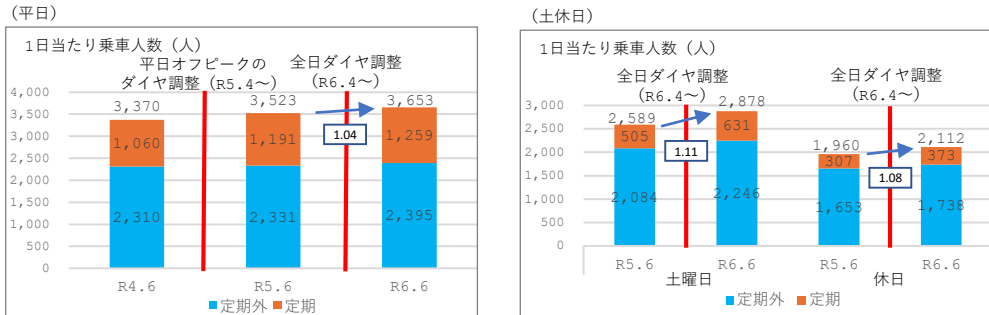


図1. 八木山ライン利用者数の推移

②路線バス利用者へのアンケート調査の実施・分析

■調査概要

- 八木山ライン利用者（及び八木山ライン先線の利用者）を対象としたアンケート調査
- 調査日時：令和6年9月26日（木）、27日（金）、28日（土）、29日（日）終日
- 配布：3,342 有効回収：1,338（回収率：40.0%）
- 回収状況：平日：904 土曜：292 日曜：142

●調査結果

- 八木山ラインの利用者は、平日ピーク・オフピーク、土曜日、日曜日のいずれの回答者も5割程度が利用しやすくなった・いい取組みだと思うと評価している。（図2）
- 八木山ラインの認知度は、平日オフピークにおいて昨年よりも10%以上増加し、またいずれの曜日においても認知度が50%以上となった。（図3）
- 全日ダイヤ調整した令和6年4月以降に八木山ラインの利用頻度が増加している人は平日、土曜日、日曜日の平均で約2割おり、土曜日が最も増加（21.9%）している。
- 多くの属性でバスが時刻表通りに来なくて困ると評価しているが、同時にパターンダイヤ化を評価している割合も大きい。（図4）

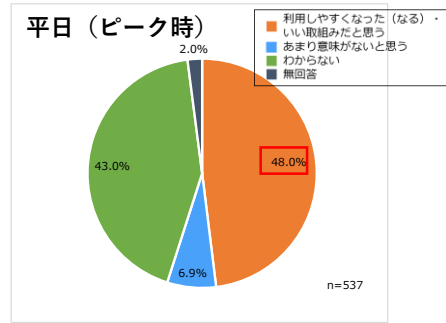


図2. ダイヤ調整で利用しやすくなるか

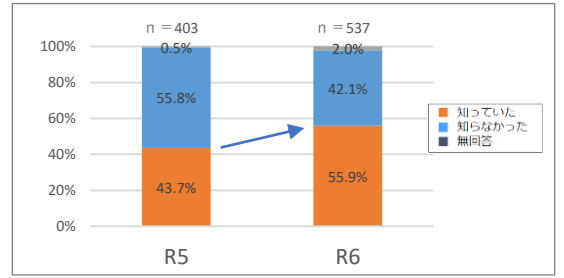


図3. 平日オフピーク時利用者の八木山ライン認知度

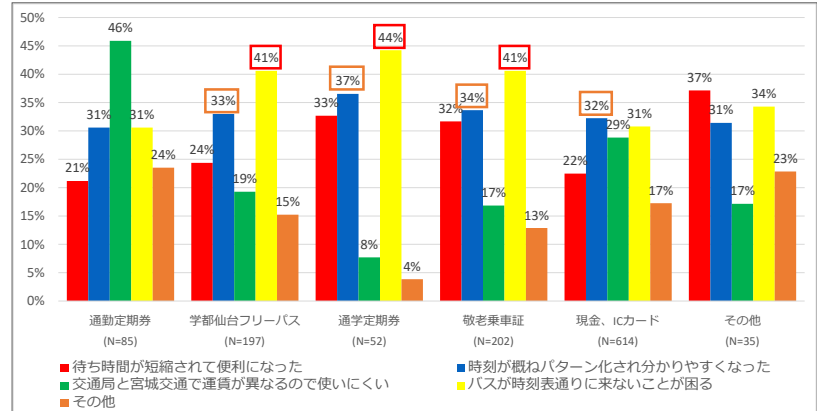


図4. 券種×八木山ラインの評価

2)仙台都心循環線新設による取組効果検証

①仙台都心循環線利用者数の分析

■集計条件

- バスODデータ（令和6年6月）から都心循環線の利用状況を分析

●利用状況の評価

- 運行開始後、継続的に利用者が増加している。（図5）
- イベントの多い土日の利用者が多く、平日の利用者と利用目的が異なると考えられる。（図6）
- 乗降の多くは仙台駅前で、それ以外では錦町公園前や東北公済病院の利用が多い。



図5. 都心循環線の曜日別利用者数の推移

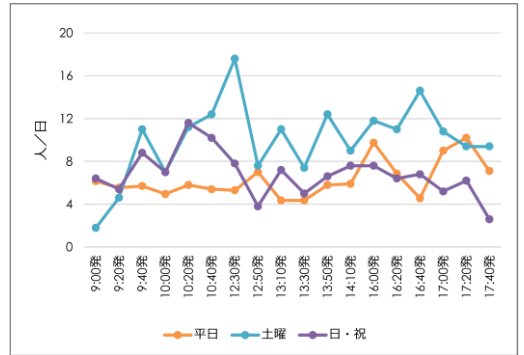


図6. 便別日あたり利用者数

②利用者へのアンケート調査の実施・分析

■調査概要

- 仙台都心循環線利用者を対象としたアンケート調査
- 調査日時：令和6年 平日9/20、9/27、10/23 土曜9/21、9/28 日曜9/22、9/29
- 配布：412 有効回収：226（回収率：54.9%）
- 回収状況：平日：114 土曜：65 日曜：47

●調査結果

- 都心循環線の運行開始により、約40%の方がバス利用頻度が増加したと回答した。（図7）
- 都心循環線に対する評価について、「バスの運行経路が分かりやすい」が50%以上であった。（図8）
- 運行開始前は路線バスを利用しなかった人が、都心循環線を利用するようになった理由は、「都心循環線の運行でバスが利用しやすくなったため」との回答が最多であった。（図9）
- 仙台都心循環線は、パターン化された運行時刻や運行経路が分かりやすいと多くの利用者から評価されており、利用者も増加傾向である。引き続き、ポスターやチラシの配布等により利用促進を図る。

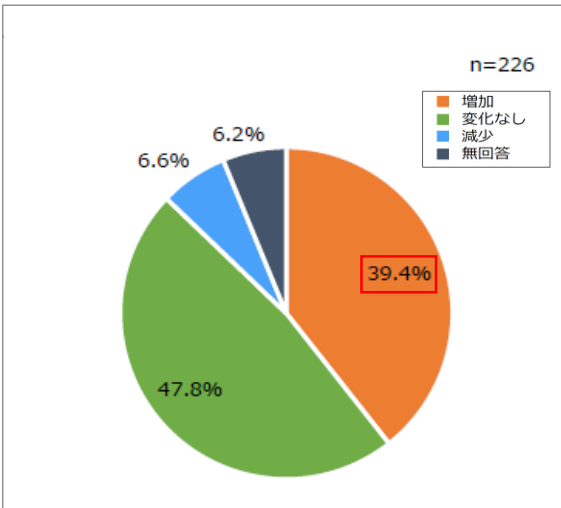


図7. 仙台都心循環線運行開始以降の路線バスの利用頻度

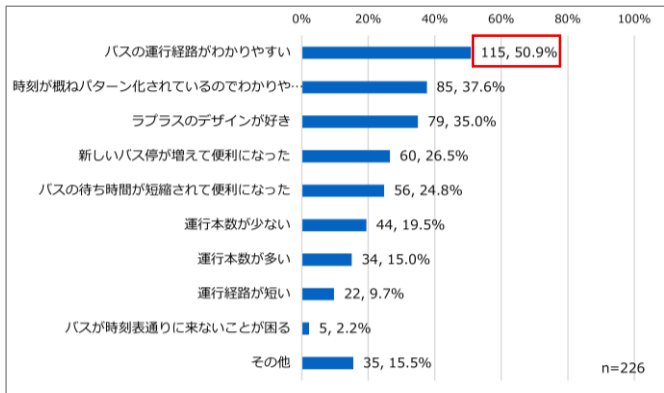


図8. 仙台都心循環線の評価

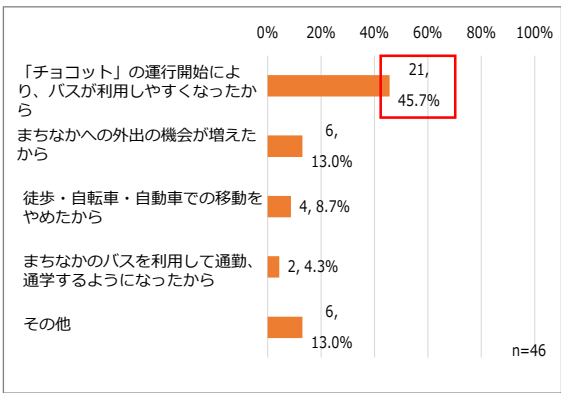


図9. 路線バス非利用者が都心循環線を利用した理由

●ポケット時刻表の作成及び配布(八木山ライン)

沿線住民への利用促進や取組の定着を目的として、ポケット時刻表を作成し、沿線の約9,000世帯に配布を行った。（図12）

●転入者向け案内チラシ作成及び配布

本市の公共交通に関する情報をスマホ等で素早く入手できるように、QRコードを掲載した案内チラシを作成し、各区役所戸籍住民課などにおいて、転入の手続きをされた方に配布を行った。（図13）



図12. 八木山ラインポケット時刻表



図13. 転入者向け案内チラシ

(3)モビリティ・マネジメント実施業務

①バス乗車体験イベントの実施

●八木山小学校を対象としたバス乗車体験

八木山ラインの周辺小学校である八木山小学校の児童と保護者を対象として10月にバス乗車体験を実施し、バスの乗り方や降り方等の体験を行った。（図14）
（14組31名参加 ※うち児童17名、保護者14名）

●バス乗車体験のアンケート結果

バス乗車体験実施後に参加した児童と保護者にアンケートを実施した。参加した児童全員が「バスでお出かけしたい」または「もう一度練習したい」を選択し、バスに興味をもってもらうことができた。また、保護者のアンケート結果においても、取組に対する好意的な意見が多く寄せられた。（図15）



図14. バス乗車体験（乗り方体験、降り方体験）



図15. 保護者のアンケート結果

イベントの感想や意見

- 久しくバスに乗っていなかったもので、子供に良い経験をさせてもらえた
- バスを利用する機会がないので、とても勉強になった
- 子供が初めてのバスだったので、とても良い体験になった
- 乗降について詳しい説明がありがたかった



図10. 仙台都心循環線ポスター



図11. 仙台都心循環線チラシ

